

# 議政治無視の党内対立

自由な討論を基礎に適法な審議過程(デュー・プロセス・オブ・ロー)を通じて、国民に最善と考えられる立法選択をする。つまり決定作成の基礎は「国是」だ。

去る三月九日、自民党総務部会・郵政政策小委員会合同会議の依頼で、「郵便局ファンの会」会長として「郵政民営化を巡る諸問題」と題し、自民党本部で講演をした。

そこで見たのは官邸と与党間の善しい異見だった。EU諸国の立法過程と比較してみると、先進国家での政策の擦り合わせは、与党対野党の間で行われる。しかし、講演会を通じて痛感したのは、激しい憎しみを持った仲間食いだ。私は、これには触れずに、国内のミクロの議論ではなく、言われている日米構造協議のプロセスで、首脳間で取り交わされてきた米側公表の文書の観点から説明をし、公党としての対外姿勢の体たらくを厳しく指摘した。

郵政問題のみならず、「民

# できるものは民で」とか、

「小さな政府」等の、物事を単純化する小泉手法には疑問を持っていた。つまり費用対効果の経済合理性に著しく傾斜し、国際社会の中での極東・アジアの地政学的な政

## 国際政治力学の視点欠く小泉政権

治のあり方という政略・戦略の視点が欠落していたからであつた。

▲▲▲  
団結できぬスキ突かれる

戦後六十年の日本政治のあり方や基本問題を、今くらい真剣に考察する機会はあるまい。郵政民営化問題に関心を持ったのは、一九九三年の「宮沢・クリントン会談」で

十年余にわたり日米で交わされた文書を検討してみる

# 世紀社会のあり方や世界戦略

に関する冷静な分析能力が欠けている点にある。露が関の能力を外交交渉で巧妙に使いこなす手腕と哲学が権力中枢には不在なのだ。

そこから日本式「省益統制

# らずに閣議決定した。お土

産・持参で、小泉首相は同月二十一日、国連総会出席を機にニューヨークで設定されたブッシュ大統領との首脳会談に臨んだ。その際、郵政民営化の進行具合を大統領から聞

# 便貯金事業の政府保有株式の

完全売却が完了するまでの間、新規の郵便保険と郵便貯金商品に暗黙の政府保証があるかのような認識が国民に生じないよう、十分な方策を取る「ように」と、まるで子供に

## 論 正



明治大学元学長  
岡野 加穂留

# りパラパラ行政」が生まれ、

USTR(米通商代表部)は、この点を巧妙に突いてくる。ブッシュ大統領の政治的狙いは、日本側が一致団結して「フォワード攻撃」を仕掛けないよう、パラパラ状態を温存することにあり、手品もどきの巧妙な手を日本政

財界・学会等に打っている。昨年九月十日に与党にも諮

# かれています。その翌月の十月

十四日に米政府は、「日本郵政公社の民営化計画が進んでいることを評価する。日本経済に最大限の経済効果をもたらすためには、日本郵政公社の民営化は意欲的試みであり、それは市場原理に基づくべきだ」という米国の対日原則を発表しているのだ。

そこでは、「郵便保険、郵

# 論すよに明記し、「米国は

日本郵政公社と成田国際空港、日本道路公団等の他の組織の民営化が成功することを期待している」と、日本の産業経済金融構造の抜本的自由化を強力に要請している。

その場凌ぎで打開は無理

## 郵政民営化でも米国の攻勢許す

日本側は隠微する体質があるが、民営化の賛否双方の急先鋒に立つ自民党議員にこのことについて聞いてみた。だが彼らはどういつわけが、日米首脳間の問題を避け、自先の現象面だけについて相互いのしり合っていた。

四月二十日の国会での党首討論を聞いて改めて首相の見解に落胆した。大衆に政治的催眠をかける権謀術数だけでは、複雑な国際関係の根底にある基本的問題は認識できない。敵は政略・戦略を駆使して自国の国是を力ずくで押しつけてくる。その場凌ぎの単純な日本式戦術の繰り返しでは問題の打開はない。

日本は代表的自由主義国家である。デモクラシーで大切なのは、政府の最終決定に対してすべての人の賛同が得られなければならないということではなくして、各人はその最終決定に対して何らかの形で貢献をしているということである。現政権の欠陥は、この点が分かっていないのだ。日米友好は、隷従を超えたと

(おかの かおる)

「ヨキニヨキ出てきました。文字通り「葉から芽」とは面白

夢 昭義 69  
(滋賀県草津市 無職)

白洲は、占領中の日本  
でGHQに抵抗し「従順